





転倒災害事例(平成26年発生分)	
開店前の商品出し作業を行っていた際、濡れていた台車の水が床にこぼれ、滑って転倒し、尾骨を骨折した。	
冷凍庫の中で未成に出す商品を取ろうとしたところ、床が凍っていたため、滑って転倒し、胸椎を骨折した。	
両手に商品を持って店出し作業を行っていた際、バランスを崩した。商品落下を防ごうとして無理な体勢になって転倒し、腰を捻挫・骨折した。	
客の注文を受けたので、作業場に小走りで戻る際、作業場の入り口で足を滑らせて、商品ケースの角で頭を打った後、仰向けに転倒し、頭部・右半身を打撲した。	
新聞をポストに置いてバイクに戻る際、地面の出っばりにつまづいて転倒し、膝を骨折した。	
野菜をカットした後、荷物を持って移動中、足がもつれて転倒し、顔を打撲、指を骨折した。	
店内売り場の巡回を行っていたところ、床掃除を行った際の水で床が濡れていたため足を滑らせて転倒し、肋骨を骨折等した。	
野菜をカットした後の切れ端が入ったかごがいっぱいになったので、捨てに行こうと移動中、床に敷いてあったブルーシートに足のつま先を引っかけて転倒し、足指を骨折した。	
作業室内の作業台をぞうきんを持って掃除をしていたところ、作業台の横に置かれていた段ボール箱につまづいて転倒し、手首を骨折した。	
売り場からバックルームに入るスイングドアの前で、売り場方向に挨拶をした後、バックルームに入ろうと振り返った際、バランスを崩して転倒し、手首を骨折した。	
勤務終了後、駐車場を歩いていたところ、足元が暗いため、車止め用の石の段差に気付かずに、足を取られて転倒し、足を骨折した。	